



令和3年度の徳島大学病院の卒後臨床研修がいよいよ新人研修医を迎え、始まります。本院の4つの研修プログラムは、いずれも研修医の皆さんの希望をかなえられる自由度の高いプログラムを提供できるのが特徴です。卒後臨床研修センターは、研修医の皆さんが研修を通じて医師として活躍するために必要な基本的能力(マインド・技能・知識)が身につくよう細やかにサポートします。志を同じくする多職種によるチーム医療の大切さや医療全般についても学んでください。

コロナ禍の現状下、医師としての第一歩を踏み出す研修医の皆さんには不安や戸惑いを感じることもあるかと思えます。卒後臨床研修センターを中心に本院職員が皆さんに寄り添い、実りある研修生活を送ることができるよう全力で応援します。そして2年後の研修を終える頃には、各人が自信と希望を持って次の専門領域の扉を開く姿を期待しています。



病院長 香美 祥二

感染対策を遵守した研修体制に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症COVID-19は感染収束の目途が立たない状況が続いており、生活様式が大きく変化してからは1年が経とうとしています。卒後臨床研修センターではこのような状況の中、病院の基本方針に準じて密閉空間、密集場所、密接場面を避け、積極的にオンラインを活用しながら下記のように活動を行って参りました。またプログラムに関しては、公衆衛生(保健・医療行政)研修が本年より新たに追加されました。今後も感染予防に留意しつつ、学生さんや初期研修医の皆様により良い研修プログラムや研修環境を提供できるようこれからも努力して参ります。

研修医教育講座&スキルアップセミナー

卒後臨床研修センターでは各診療科の先生方に御協力いただき、研修医教育講座とスキルアップセミナーを定期的に開催し、実臨床に役立つ知識や手技の教育を行っております。(このうち、例年2回徳島県立中央病院と合同で開催していたメディカルゾーンセミナーは中止しております。)御協力いただいております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げさせていただきますと共に、来年度以降に関しましては御協力の程を宜しく御願ひ申し上げます。

また、月2回、卒後臨床研修センター会議室にてネイティブの講師による英会話教室を開催しております。(詳しい内容に関しましては、卒後臨床研修センターのホームページをご参照下さい。)

上記のスキルアップセミナーや英会話教室に関しては、医学部の学生さんにも門戸を広げています。新型コロナウイルス感染症対策に伴う当院のBCPLレベルに応じて現地参加やweb参加(自宅からでも参加可能です。)を受け付けておりますので、ぜひご参加下さい。

■ 研修医教育講座(少人数・分割)



縫合実習

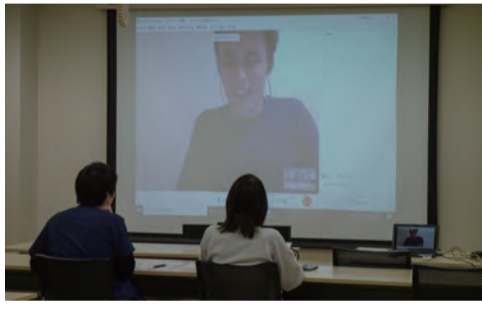
■ スキルアップセミナー(オンライン) ※



■ 英会話教室(オンライン) ※



上下消化管内視鏡実習



■ CVC講習会



心臓リハビリテーション



※ 学生サポートあり(徳島大学医学部学生は、希望すれば参加可能です。)

医療のエキスパートを目指して！ キャリアデザインセミナー

2020年11月27日(金) 医学科4年生の講義の一環として、「医療のエキスパートを目指して！-キャリアデザインセミナー-」をオンラインにて開催致しました。福山大学生命工学部生命栄養科学科教授で中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門員の田中 信一郎先生に「医師のキャリアプランにおける初期臨床研修制度の位置づけ」について御講演をいただいた後に、徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野教授の森岡久尚先生に御自身のキャリアパスについて御講演いただきました。その後、当院の2年次研修医も交えた対談を実施しました。約120名の学生を対象としたオンライン開催でしたが、直接やチャットなどで学生さんから多数の質問を頂き、活発な意見交換ができたことに手応えを感じました。この講義を通じ学生さんの今後のキャリアの選択肢が広がると共に、学生さんと指導医・研修医が互いに知り合うことでこれから始まるクリニカルクラークシップが実りあるものになればと考えています。

医療のエキスパートを目指して！
キャリアデザインセミナー

日時：11月27日(金) 13:00~15:15
【1部】13:00~14:00 【2部】14:15~15:15
開催方式：オンライン開催
(TeamsでのLive配信)

進行：卒後臨床研修センター 副センター長 西 京子 先生

【1部】「臨床研修とは」
1. 挨拶：卒後臨床研修センター長 安倍 正博 先生
2. センター概要説明 副センター長 西 京子 先生
3. 特別講演：
「医師のキャリアプランにおける
初期臨床研修制度の位置づけ」
中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門員
福山大学生命工学部生命栄養科学科 教授 田中 信一郎 先生
4. 臨床研修プログラム紹介 (動画)

【2部】「先輩たちのキャリアを知ろう」
1. 卒後臨床研修センター(循環器内科) 特任助教 門田 崇之 先生
2. 特別講演：
「公衆衛生の私のキャリアパス」
徳島大学大学院医歯薬学研究部 公衆衛生学分野
教授 森岡 久尚 先生
3. 研修医との対談

注意
※ 本セミナーは医学科の令和2年度臨床実習入門共通講義です。(医学部FD)
主催：卒後臨床研修センター TEL 089-633-9359 E-mail:tsoteugou@tokushima-u.ac.jp
共催：徳島大学医学部、徳島大学病院 後援：徳島大学医学部医学科同窓会 有能会



田中 信一郎先生



森岡 久尚先生

広報活動

広報活動に関しては、例年大塚講堂で開催していた学生に向けた研修プログラム説明会(初期研修+専門医研修)は中止となりました。代替として、徳島大学6年生に限定した小規模の説明会を昨年7月に日亜メディカルホールで行いました。また病院見学も国内の情勢を考慮し一時中止としており、現在県外の他大学生に対しては個別にオンラインを用いた説明を行っています。

このように広報活動が限定される状況が続いておりますが、卒後臨床研修センターでは紹介動画を作成し、ホームページにアップロードするとともに、10月に開催された「レジナビFairオンライン西日本Week2020」にも公開するなど、新しい形での広報に取り組んでいます。



徳島大学病院 初期臨床研修について



ホームページ内の紹介動画

徳島医学会学術集会

2020年8月2日(日)に第261回徳島医学会が開催されました。今回の招聘講演はネット配信で、また従来のポスターセッションはweb公開での発表形式となりました。徳島大学病院からは7名が右記診療科の御指導による演題発表を行い、川原先生が第24回若手奨励賞を受賞しました。熱心に御指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

- 清重尚希先生(1年目)：血液内科
- 高橋啓輝先生(1年目)：呼吸器・膠原病内科
- 阿部拓馬先生(2年目)：循環器内科
- 石田卓也先生(2年目)：呼吸器外科
- 川原綾香先生(2年目)：内分泌・代謝内科
- 根岸佑典先生(2年目)：循環器内科
- 岩佐みゆき先生(2年目)：麻酔科

研修医紹介

現在、徳島大学病院で
研修中の研修医

1年次研修医

天野 雅文 金山 涼加
清重 尚希 藤森 俊
遠藤 理子

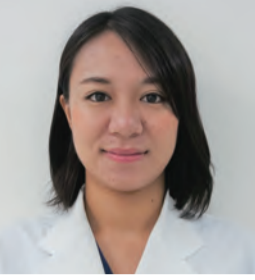
2年次研修医

阿部 拓馬 石田 卓也 井上 舞 川原 綾香
閑 仁志朗 岸田 盛吾 中川 奉宇 根岸 佑典
森脇 進 松田 みゆき 伊藤 達宏 田中 真波

前回のニュースレター発行後に
徳島大学病院に戻ってきた研修医です。



よした まりこ
吉田 真理子 (1年次)
10月から大学病院へ帰ってきて
研修させて頂いています。慣れ
ない事も多いですが宜しくお願い
いたします。



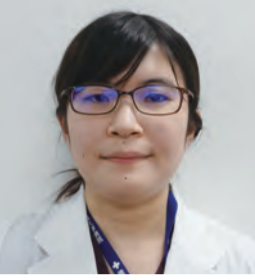
きむら らんこ
木村 蘭子 (1年次)
研修生活を充実させたいです。
よろしくお願いいたします。



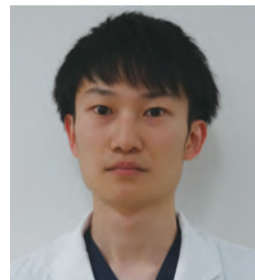
むらやま みさき
村山 美咲 (1年次)
今までの経験を活かしつつ、1つ
ずつしっかり吸収出来るよう頑
張ります。ご指導よろしくお願い
致します。



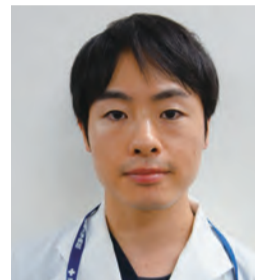
あおい ゆう
青井 優 (2年次)
残りの研修期間も短くなりまし
たが、より良い医療者となる
よう研鑽を重ねていこうと思
います。



あたぎ まりか
安宅 真利花 (2年次)
7月より大学病院に戻りました。
残り数ヶ月の研修ですが、精一
杯がんばります。



いちばら せいや
市原 聖也 (2年次)
愛媛、高知での研修を経て徳
島に戻りました。初心を忘れ
ず、積極的な姿勢で頑張ります
ので宜しくお願い致します。



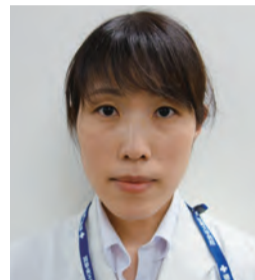
さかい ようすけ
酒井 遙介 (2年次)
日々、医師としての自覚を新た
にしながら、残りの初期研修期
間を過ごしたいと思います。



ただ こうき
多田 航生 (2年次)
研修医として残り僅かの期間
ですが、少しでも充実したも
のとなるように頑張りたいと
思います。



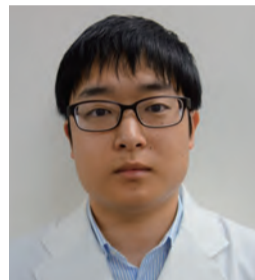
きもと めいせい
記本 明静 (2年次)
研修期間が残りわずかとなりま
したが、来年度以降につなげら
れるよう取り組んでいきます。



よした ゆうり
吉田 結理 (2年次)
研修期間も残り少しくなりまし
たが、最後までしっかり頑張ろ
うと思います。どうぞよろしく
お願い致します。



よしもと たかし
吉本 貴志 (2年次)
昨年1年間学んだことをいかし
つつ、今年も知識と経験を積み
重ね日々精進していきたいと思います。



さとう こうじ
佐藤 功志 (2年次)
外病院での研修を終え帰ってき
ました。学んだことを生かせる
よう日々頑張ります。よろしく
願います。

徳島大学病院 研修医奮闘記

「初期研修2年を振り返って」

気づけば2年間あった研修期間も残りわずかとなり、今後の進路を決める時期となりました。

私はAWAすだちプログラムの関連で昨年は愛媛県立中央病院で研修させていただきました。しかし、私自身生まれも育ちも徳島であり、愛媛県には縁もゆかりもありませんでした。愛媛を選んだ理由としては、24年間徳島で過ごしてきたため、一度は知らない土地で過ごしてみたいという思いがあったのと、また愛媛県立中央病院は西日本有数の大規模病院で一次～三次救急まで担っており、多くの診療科がある病院ということで研修させていただきました。いざ研修が始まると、自分の未熟さを痛感する日々であり、さらに慣れない土地での生活ということに苦労しました。病棟や外来で自分一人では何もできず、指導医の先生に手取り足取り教えて頂くことに申し訳なさを感じることもありました。幸い、研修医の同期は多く、指導医の先生方にも思われたため、苦労しつつも少しずつ成長を実感しながら研修することができました。

愛媛県立中央病院での一年間の研修を終え、今年4月に徳島大学病院に戻ってまいりました。研修一年目は内科、救急科を中心にローテーションしたので、大学病院では未研修の診療科や今後の進路に合わせた診療科をローテーションさせていただいております。大学病院では、なかなか経験することができない貴重な症例やアカデミックな医療を学ぶことができます。

市中病院で救急対応やcommon diseaseを学び、大学病院で貴重な症例や最新の治療などを学ぶことができるのがAWAすだちプログラムの特長だと思います。また、複数の病院で研修することで多様な考え方、環境に触れ、様々な患者へのアプローチを学ぶことができます。さらに、初期研修は医師としてのスタートであるとともに、自分のキャリア形成を考える重要な期間でもあります。研修中に新たな分野に興味を湧いたり、良き指導医との出会いがきっかけで進路が大きく変わる可能性もあります。

2年次研修医 阿部 拓馬 先生
(AWAすだちプログラム:徳島大学病院・愛媛県立中央病院・つるぎ町立半田病院にて研修)



中央が筆者
また今年は、COVID-19のあおりをうけ制限がある中での研修となっています。誰も経験したことのない事態であり、このような状況がいつまで続くか不安な状態での研修ではありますが、日々精進してまいります。まだまだ知識も技術も未熟ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。

医員募集

医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集しています。

医員募集の
概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
医員定員	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp https://www.careercenter-dr.jp/

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。本年は病院見学やプログラム説明会が中止または縮小となっている経緯から、医学生に向けた卒後臨床研修センター・研修プログラムの紹介動画および研修プログラムのデジタルパンフレットを公開しました。その他、新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に御興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ(<http://www.tokudai-sotsugo.jp>)にアクセスいただけますと幸いです。

■ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒後臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 北村 晋志 shinji.kitamura@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/

心臓血管外科

(科長 桑 広樹)

2020年2月に新体制となり成人心疾患、先天性心疾患、大動脈・末梢血管疾患、重症心不全など広くカバーし着実に手術数が増加しています。

当科では手術手技や周術期管理の習得に加え、医師としての教養や人間性を高め基礎・臨床研究や論文作成もできるバランスの取れたAcademic Surgeonを目指します。

新しい力、次世代の執刀医が不足しています。やり甲斐のある心臓血管外科で共に有意義な汗を流しましょう！



連絡先 北市 隆 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、新専門医制度に対応した診療拠点病院、教育関連施設で研修を行うため症例も多く、充実した研修が行えます。関連病院には、透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等の subspecialty 領域の認定医習得ができます。また、泌尿器科では、ロボット支援手術を積極的に行っており、大学を含めた7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学も可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
http://tokushima-u-urology.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
山口 浩司 yamakoji3@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

腎臓内科

(科長 長井 幸二郎)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前後を含めた透析管理を研修していただけます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 長井 幸二郎 knagai@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

脳神経内科

(科長 和泉 唯信)

脳神経内科はcommon disease(頭痛、しびれ、脳卒中、認知症など)から難病(筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン症候群など)まで幅広い疾患を対象にします。現在は多くの疾患が早く正確に診断できるようになり治療も大幅に進歩しています。徳島大学病院ではこれらの疾患群を十分な指導のもと偏りなく診療でき、専門医の高合格率にも定評があります。また海外・国内への留学実績も豊富です。

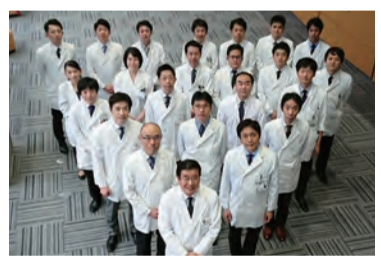


連絡先 松井 尚子 naoko@tokushima-u.ac.jp
藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な周術期治療と術前準備、確実に治すための手術選択、心のこもった周術期の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、その技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」、そんな熱く、優しいハートを持った医師を歓迎します！



連絡先 西野 豪志 nishinotakeshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

当科には全国に通用する一流の外科医の育成環境が整っています。肝胆膵領域では高難度手術・生体肝移植を行い、徳島唯一の高度技能研修施設A指定を受け、高度技能専門医は5名で全国トップクラスです。消化管領域では5名の内視鏡外科技術認定医が胃癌・大腸癌手術の執刀・指導を行っています。ロボット手術、直腸癌に対する経肛門手術(TaTME)を積極的に施行し、症例数は全国屈指です。若手の執刀機会も多く、最短期の各専門医取得が可能です。



連絡先 西 正晴 nishi.masaaki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌や間質性肺炎の治験・臨床試験に積極的に参加し、膠原病でも県内で中心的役割を果たしています。国内外の留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。

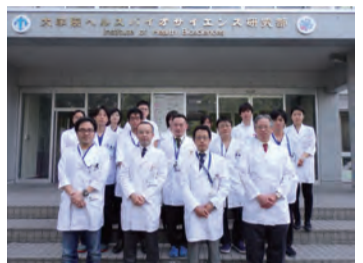


連絡先 軒原 浩 hnokihara@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
https://plaza.umin.ac.jp/sannaif/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌代謝疾患には糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能異常、二次性高血圧、骨粗鬆症など、日常診療で遭遇する頻度が高い疾患が含まれます。また、内分泌代謝疾患診療では、患者さんの全身を診るのみならず、その社会的背景も勘案した治療方針を考える必要があります。当科では、臨床医に必要な幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして最善の治療方針を立案できるスキルを身につけることができる教育、指導を行っています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

総合診療部

(部長 谷 憲治)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が注目されています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 大倉 佳宏 ookura.yoshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
http://www.tiiki.umin.jp/

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌手術は完全胸腔鏡下手術で行い、最近ではロボット支援手術も導入しています。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると幸いです。興味のある方は是非ご連絡ください。

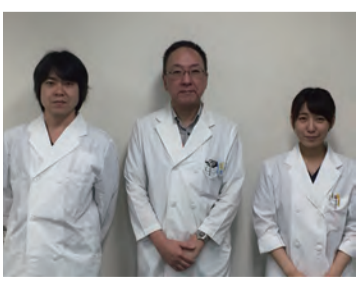


連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療・四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術:小児単径ヘルニアに対するLPEC法その他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対して積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩、神経眼科といった広範囲の専門分野を研修することが出来ます。また、最新の画像診断技術や人工知能を用いた質の高い眼科画像解析を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 岩田 明子 rtpgg803@yahoo.co.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、15人で毎日平均70人の外来患者、10人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
矢田 未央(総務医長) machida.mio@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

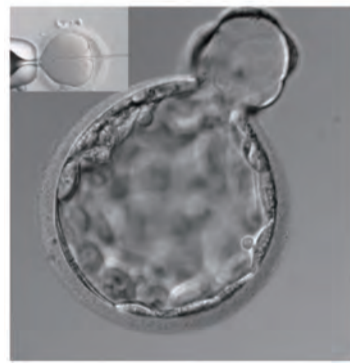


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

産科婦人科

(科長 岩佐 武)

産科婦人科には生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、専門診療はもちろんのこと、それにかかわる基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生および初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある方はお気軽に御連絡下さい。



連絡先 吉田 加奈子(総務医長) yoshida.kanako@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

救急集中治療部

(部長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://www.tuh-ericu.org/

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 佐藤 豪 go-sato@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

形成外科は、身体の組織の変形や欠損に対して、より正常に近づけることを目的とする外科系の専門領域です。当科の研修プログラムは、基本的な手術手技の習得から始まり、大学病院と連携施設で研修することで、頭頸部や乳房再建などに必要となるマイクロサージャリーの技術や、顔面骨折などの外傷、唇裂口蓋裂などの先天奇形の治療に必要な高度な技術以外に、美容に関するレーザー治療の技術なども習得することが可能です。



連絡先 峯田 一秀 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://plaza.umin.ac.jp/tokudakeisei/academic_greeting.html

精神科神経科／心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせ、方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、その他の研修施設にも信頼できる指導医を要し、指導体制を充実させています。精神科医になるなら、ぜひ徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀬 理仁 nktk@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視等)やIVR(血管内治療、CTガイド下生検等)をはじめ、最先端の脳機能MRIやアミノイドイメージング、凍結療法等を行っており、全国トップクラスの環境と技術を誇っています。新たに人工知能(AI)の診断補助プログラムも導入し、遠隔診療を含めたIT技術を活用して高度な医療システムにも対応しました。これらにより多様な柔軟性と幅広い働き方が可能であり、個人の特性と環境に応じた選択が行え、仕事と私生活のバランスをとることが可能です。多くの医師が興味をもって来ていただければと思います。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線9283) fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハビリテーション科は基盤診療科の中で充足率が最も低い一方、高齢化等によりますます必要な診療科です。専攻医研修は徳島大学病院を基幹とし、リハビリテーション専門の徳島病院、回復期リハビリテーション病棟や関連施設を持つ一般病院から構成され、総合的に研修できるプログラムで、2017年度から二名、2018年度から一名が研修しています。リハビリテーション医学は患者の生活に直結し、ロボットリハビリテーションなど新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤 真介 skatoh@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことが出来ません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。

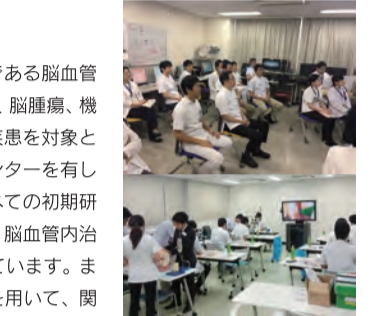


連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手術、脳血管内治療について学べるシステムを提供しています。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に付けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。



連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhisa.1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線3246) fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

小児科

(科長 渡辺 浩良)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティエ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしています。

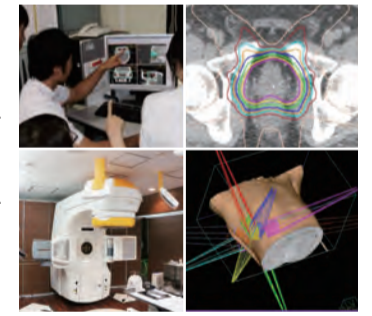


連絡先 杉本 真弓 sugimoto.mayumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に800人以上の新規患者を受け入れている中国・四国で有効の放射線治療施設です。



粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。

連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp